## 職業実践専門課程等の基本情報について

					10.00	長名							
姫路情報ITクリエイ	′ター専門	亚中	27年3月2	78	三好	康弘	〒 (住所)	670-0902 兵庫県姫路市白銀	 !⊞⊤61	·			
学校							(電話)	7年宗姫路市日 079-284-2715	1 0 1				
設置者名		設立	Z認可年月	日	代表	者名	Ŧ	101-0065		所在地			
学校法人大原	学園	昭和	054年4月	18	中本	毎彦	(住所)	東京都千代田区西	i神田1丁	目1番3号			
分野		記定課程名			忍定学科名	5	(電話)	03-3292-6266 門士認定年度	一声	度専門士認定	年度	職業宝建	専門課程認定年度
工業		業専門課程			<del>。在了小</del> 青報IT学科			式28(2016)年度	[6]	<del>汉寸</del> 门工心た -	.T/X		4(2022)年度
		/ペーマー Jp木作	-	11	7 TAT 17 171		L +1					<u> </u>	
学科の目的	教育基本校とを目的とな		教育法に基	づき、情報エ	学及びコン	/ピュータ技術	析並びにこ	れらのビジネスに関す	る教育を	施し、人格の陶	冶を行い、	、以て有為な	産業人を育成するこ
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	【取得可能》	な資格】基本	<b>本情報処</b> 理	技術者、ITバ	パスポート								
修業年限	昼夜	全課程の修	多了に必要 単位	な総授業時数 対数	数又は総	講家	<b></b>	演習		実習	美	<b>ミ験</b>	実技
2	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	1,710 単	单位時間 単位	120	単位時間単位	540 単位時間	1,3	80 単位時間	0	) 単位時間 単位	① 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実	:員(A)	留学生	数 (生徒実員の内		留学生割		中退率					
60 人	45	,		6 J		0	%	8 %	1				
	■卒業者数	数 (C)	:	•	23		人		_				
	■就職希望	望者数 (D)			19		,	_					
	■就職者数  ■地元就耶				19 13		<del>-</del>	_					
	■地元別和				100		人	_					
			元就職者の	割合 (F/E)				_					
					68		%	_					
	■卒業者に	-ロのる別項	吸句の制合	(E/U)	83		%						
就職等の状況	■進学者数 ■その他	牧			2		人	_					
	アルバイト	1名、不明	1名										
	(令和	6	年度卒業者	に関する令和	<b>7</b> 年5月1	日時点の情報	叏)						
	■主な就職	哉先、業界:	等										
	(令和6年度2	卒業生)											
		<del>性如</del> T即3	車企業)等	¥									
	サントクコン	ンピューター	サービス㈱	り、日東コンb	ピューター	サービス(株)	、コベルコ	ソフトサービス(株)等	ř .				
<i>to</i> = 3.1 7	サントクコン	ンピューター 平価機関等	サービス® から第三	り、日東コント 者評価:	ピューター	サービス(株)	、コベルコ	ソフトサービス(株) 等 無	<u> </u>				
第三者による 学校評価	サントクコン ■ 民間の ※有の場合、	ンピューター 評価機関等 例えば以下	サービス® から第三	り、日東コント 者評価:	ピューター		、コベルコ	無		た掲載! た			
第三者による 学校評価	サントクコン ■ 民間の ※有の場合、	ンピューター 平価機関等	サービス® から第三	り、日東コント 者評価:	<u>ピューター</u>	<b>サービス(株)</b> 受審年月:	、コベルコ	無	評価結果を	を掲載した -ジURL			
学校評価	サントクコン ■ 民間の ※有の場合、	ンピューター 評価機関等 例えば以下	サービス® から第三	り、日東コント 者評価:	ピューター		、コベルコ	無	評価結果を				
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、	ンピュータ <sup>+</sup> 平価機関等 例えば以下 平価団体:	サービス(制 学から第三 について任	り、日東コント 者評価:		受審年月:		無	評価結果を				
学校評価  当該学科の	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、	ンピュータ <sup>+</sup> 平価機関等 例えば以下 平価団体:	サービス(制 学から第三 について任	)、日東コンし 者評価: 意記載		受審年月:		無	評価結果を				
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	ンピュータ <sup>+</sup> 平価機関等 例えば以下 平価団体:	サービス様 から第三 について任 ac.jp/senr	)、日東コンし 者評価: 意記載		受審年月:		無	評価結果を				
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	ンピュータ+ 平価機関等 例えば以下 平価団体: vw.o-hara.a	サービス様 P から第三 C について任 ac.jp/senr 算定)	)、日東コンし 者評価: 意記載		受審年月:		無	評価結果を		1, 710	D 単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	レピュータ+ 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara.a 時間による 総授業時数	サービス様 P から第三 C について任 ac.jp/senr 算定)	)、日東コンし 者評価: 意記載	/himeji_it/c	受審年月: course/jouh	nou/syste	無	評価結果を			D 単位時間 D 単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	レピュータ+ 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara.a 時間による 総授業時数	サービス 静から第三 について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等	制、日東コンt 者評価: 意記載 non/school/	/himeji_it/c	受審年月: course/jouh ・実技の授業	nou/syste	無	評価結果を		300		
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	レピュータ- 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara 時間による 総授業時数	サービス(株 手から第三 について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等	制、日東コンt 者評価: 意記載 non/school/ sと連携したほ	/himeji_it/c	受審年月: course/jouh ・実技の授業	nou/syste	無	評価結果を		300	0 単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	レピュータ- 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara 時間による 総授業時数	サービス 静から第三 について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等	R ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	/himeji_it/c 実験・実習 <sub>寛習の授業</sub> 田	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数	nou/syster s時数	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	レピュータ- 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara 時間による 総授業時数	サービス(株 手から第三 について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等	REPROPERTY NEWS TO A STATE OF THE STATE OF	/himeji_it/c 実験・実習 実習の授業B に連携した&	受審年月: course/jouh ・実技の授業 持数	nou/system 時数 実習・実技	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300	)単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間	
学校評価  当該学科の ホームページ	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	レピュータ- 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara 時間による 総授業時数	サービス 等から第三 について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等 うち必修授	REPROPERTY NEWS TO A STATE OF THE STATE OF	/himeji_it/c 実験・実習 <sub>実</sub> 習の授業 に連携したな に連携したな	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数  必修の実験・	nou/systel 時数 実習・実技 授業時数	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	サントクコン ■民間の記 ※有の場合、 https://ww	レピュータ- 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara 時間による 総授業時数	サービス 等から第三 について任 ac.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等 うち必修授	REPROPERTY NEWS TO A STATE OF THE STATE OF	/himeji_it/c 実験・実習 <sub>実</sub> 習の授業 に連携したな に連携したな	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数  必修の実験・	nou/systel 時数 実習・実技 授業時数	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300	)単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の記 ※有の場合、 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	ピュータ 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara. 時間による 総授業時数	サービス ( )	REPROPERTY NEWS TO A STATE OF THE STATE OF	/himeji_it/c 実験・実習 <sub>実</sub> 習の授業 に連携したな に連携したな	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数  必修の実験・	nou/systel 時数 実習・実技 授業時数	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等等と連携した 実習等の実施状況	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.o-hara. 時間による 総授業時数	サービス ( )	REPROPERTY NEWS TO A STATE OF THE STATE OF	/himeji_it/c 実験・実習 <sub>実</sub> 習の授業 に連携したな に連携したな	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数  必修の実験・	nou/systel 時数 実習・実技 授業時数	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.o-hara 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) まから 第三 ( ) まから 第三 ( ) また (	Record	/himeji_it/c 実験・実習 演習の授業 と連携した& と連携した&	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数  必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	nou/systei 時数 実習・実 授業時数 業時数)	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関す 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算	サービス ( ) を	R ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	/himeji_it/c 実験・実習 実際・実習の授業 に連携した& に連携したを にマインターン	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位	nou/systei 時数 実習・実 授業時数 業時数)	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) を	<ul> <li>日東コンと者評価:</li> <li>意記載</li> <li>non/school/</li> <li>と連携した事業時数</li> <li>うち企業等と</li> <li>等と連携した事</li> <li>なきを連携した事</li> </ul>	/himeji_it/c 実験・実習 実際・実習の授業 に連携した& に連携したを にマインターン	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位	nou/systei 時数 実習・実 授業時数 業時数)	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) を	<ul> <li>日東コンと者評価:</li> <li>意記載</li> <li>non/school/</li> <li>と連携した事業時数</li> <li>うち企業等と</li> <li>等と連携した事</li> <li>なきを連携した事</li> </ul>	/himeji_it/c 実験・実習 実際・実習の授業 に連携した& に連携したを にマインターン	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位	nou/systei 時数 実習・実 授業時数 業時数)	<b>無</b>	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) を	<ul> <li>日東コンと者評価:</li> <li>意記載</li> <li>non/school/</li> <li>と連携した事業時数</li> <li>うち企業等と</li> <li>等と連携した事</li> <li>なきを連携した事</li> </ul>	/himeji_it/c 実験・実習 実験・実習の授業 と連携した& とは携したを にてインターン 実験・実習 実験・実習の単位数	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の シンシップの授 ・実技の単位 数	nou/systei 時数 実習・実 授業時数) 業時数)	無 無	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) を	<ul> <li>日東コンと者評価:</li> <li>書記載</li> <li>non/school/</li> <li>と連携した</li> <li>業時数</li> <li>うち企業等と</li> <li>等と連携した</li> <li>はと連携した</li> </ul>	/himeji_it/c 実験・実習 実際・実習の授業 と連携した& とでインターン 実験・実習の単位数 と連携した&	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の シンシップの授 ・実技の単位 数	nou/system 時数 実習・実 授業時数) 数 数	無 無	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) デービス ( ) デージー ( ) デーン ( )	<ul> <li>日東コンと者評価:</li> <li>書記載</li> <li>non/school/</li> <li>と連携した</li> <li>業時数</li> <li>うち企業等と</li> <li>きと連携した</li> <li>はと連携した</li> <li>うち企業等と</li> <li>にと連携した</li> <li>でと連携した</li> <li>でとを</li> <li>できる</li> <li>できる</li></ul>	/himeji_it/c 実験・実習 実験・実習の授業 と連携した& とは、 とは、 とは、 となった とは、 となった とは、 となった とは、 となった となった。 とな。 となった。 となった。 とな。 となった。 とな。 とな。 とな。 とな。 と、 とな。 とな。 とな。 と、 とな。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 とな。 と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の シンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・	nou/system  property in the system  property in the s	無 無	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) デービス ( ) デージー ( ) デーン ( )	お、日東コンと者評価: 者評価: 意記載 non/school/ を連携した沙 業時数 うち企業等と を連携した がと連携した がと連携した がと連携した がと連携した がと連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がいる。	/himeji_it/c 実験・実習 実験・実習の授業 と連携した& とは、 とは、 とは、 となった とは、 となった とは、 となった とは、 となった となった。 とな。 となった。 となった。 とな。 となった。 とな。 とな。 とな。 とな。 と、 とな。 とな。 とな。 と、 とな。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 とな。 と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の シンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・	nou/system  property in the system  property in the s	無 無	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の言 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位	ピュータ 平価機関等 例えば以下 WMOーhara. 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	サービス ( ) デービス ( ) デージー ( ) デーン ( )	お、日東コンと者評価: 者評価: 意記載 non/school/ を連携した沙 業時数 うち企業等と を連携した がと連携した がと連携した がと連携した がと連携した がと連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がいる。	/himeji_it/c 実験・実習 実験・実習の授業 と連携した& とは、 とは、 とは、 となった とは、 となった とは、 となった とは、 となった となった。 とな。 となった。 となった。 とな。 となった。 とな。 とな。 とな。 とな。 と、 とな。 とな。 とな。 と、 とな。 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 とな。 と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の シンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・	nou/system  property in the system  property in the s	無 無	評価結果を		300 0 1, 320 300 0	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の記 ※ 有の場合、 ※ 1 https://ww (A:単位	デュータ 平価人 関い で (本)	サービネン ( ) では、 ( ) では	お、日東コンと者評価: 者評価: 意記載 non/school/ を連携した沙 業時数 うち企業等と を連携した がと連携した がと連携した がと連携した がと連携した がと連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がとを連携した がいる。	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	pou/system  pou/s	無 無	評価結果でホームペー		3000 C 1,32C 3000 C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況(A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の記 ※ 有の場合、 ※ 1 https://ww (A:単位	ピューサタ (学年) (学年) (学年) (学年) (学年) (学年) (学年) (学年)	サーから第二位 ac.jp/senr	日東一大田本の A Table 1 A Table 2 A Tabl	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	pou/system 実習・実 授業時数) 数 実習位数 は位数)	無  なの授業時数	評価結果《ホームペー		3000 C 1, 322 S 300 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位	
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等等と連携施状が に記入)	サントクコン ■ 民間の記 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位 (B:単位	ピューザン マーク	サービネル ( ) では、 ( ) では	日東コンと 者評価: 意記載 mon/school/ をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をとを連携したが をと連携したが をと連携したが をとを連携したが をとを連携したが をとを連携したが るるをを連携したが るるをを連携したが るるをを連携したが るるをを連携したが るるをを連携したが るるをを連携したが るるをを連携したが るるをを連携したが るるをを連携を をを連携を をを連携を をを連携を をををできるとを ををできるとを ををできるとを ををできるとを を を を を を を を を を を を を を を を を を を	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	無 放の授業時数 技の単位数 学校設置基準第41条第1	評価結果		3000 C 1, 322 S 3000 C C C C C C C C C C C C C C C C C	0 単位時間 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL 企業等を連携した況へん、A、Bいずれか	サントクコン ■ 民間の記 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位 (B:単位	ピュータ (マール・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・	サーからいて任 からいて任 なこ,jp/senr 第定 な企企企のを なの数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数と者 で数論 をかるを が数と者 で数論 をかるを をかるを をかるを をかるを をかると をかるを をかると をかると をかるを が数と をかるを をがる をかるを をがるを をがるを をがるを をがるを をがるを をがるを をがるを をがるを をがると をがるを をがをを をがをを をををををを をををををををををを	日東コンと 者語記載 mon/school/ をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をを連携したが をと連携したが をを連携をできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできると	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	pou/system space	無	頭第1号) 項第2号)		3000 C 1, 322 3000 C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位     日    日     日    日     日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況(A、に記入)	サントクコン ■ 民間の記 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位 (B:単位	プース ( ) では、 ) には、 ) には	サービネン ( ) では、 ) には、 ) では、 ) には、 )	日東コンと 者語記載 mon/school/ をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をを連携したが をと連携したが をを連携をできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできると	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	pou/system space	無 放の授業時数 技の単位数 学校設置基準第41条第1	頭第1号) 項第2号)		3000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位     日    日     日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日	
学校評価  当該学科のホージ URL  企業等のほかがれた。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでは、  ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは	サントクコン ■ 民間の記 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位 (B:単位	ピュータ (マール・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・	サービネン ( ) では、 ) には、 ) では、 ) には、 )	日東コンと 者語記載 mon/school/ をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をを連携したが をと連携したが をを連携をできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできると	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	pou/system space	無	頭第1号) 項第2号) 項第3号)		3000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位     日    日     日    日     日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日	
学校評価  当該学科のホージ URL  企業等のほかがれた。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでは、  ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは	サントクコン ■ 民間の記 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位 (B:単位	プース ( ) では、 ) には、 ) には	サービネン ( ) では、 ) には、 ) では、 ) には、 )	日東コンと 者語記載 mon/school/ をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をを連携したが をと連携したが をを連携をできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできると	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと とこと と	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	pou/system space	無	頭第1号) 項第2号) 項第3号)		3000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位     日    日     日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日	
学校評価  当該学科のホージ URL  企業等のほかがれた。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでは、  ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは	サントクコン ■ 民間の記 ※有の場合、 ※ (A:単位 (B:単位	プーク (学生) では、 一	サービネン ( ) では、 ) には、 ) では、 ) には、 )	日東コンと 者語記載 mon/school/ をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携した沙 をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をと連携したが をを連携したが をと連携したが をを連携をできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできると	/himeji_it/c  実験・実習 実験・実習 実験・実習 と連携したな ととは、 ととこく ととこと とここと とここと とここと とここと とここと とここ	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数  必修の実験・の演習の授 ・実技の単位  必修の実験・の で変習の ・変技の単位  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ので表現の ・変数  ・変数  ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・	pou/system space	無	頭第1号) 項第2号) 項第3号)		3000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位     日    日    日     日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日	
学校評価  当該学科のホージ URL  企業等のほかがれた。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでは、  ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは	サントクコ ■ 民間の ※ 有の場合、 ※ (A:単位 (B:単位	デュー 世	サード A Service of the Control of th	R 日東田: お記載  Tonon/school/  お記載  Tonon/school/  おとと業うう等  とと建等うう等  とと連携 したたう  な連携 したを連携 したを連携 したを連携 したを連携 したを連修した すると をを表した を変換  Tonon/school/  を表した を変換  を表した を表した を表した を表した を表した を表した を表した を表し	/himeji_it/c	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	pou/system  実習・実技  素等・数  素響・数  素響・数  な数  実性位数  (専修・ (専修・ (専修・	無 故の授業時数 一位数 一位数 一位数 一位数 一位数 一位数 一位数 一位	項第1号) 項第2号) 項第3号) 項第5号)	VUR L	3000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位     日    日    日     日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日	
学校評価  当該学科のホージ URL  企業等のほかがれた。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  企業である。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでも記した。  ないでは、  ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、  ないでは、 ないでは	サントクコン ■ 民間の ※ 有の場合。 ※ 相位 [[ (B:単位 [[	デューリー	サーかのいて	R 日東田: お記載  Tonon/school/  お記載  Tonon/school/  おとと業うう等  とと建等うう等  とと連携 したたう  な連携 したを連携 したを連携 したを連携 したを連携 したを連修した すると をを表した を変換  Tonon/school/  を表した を変換  を表した を表した を表した を表した を表した を表した を表した を表し	/himeji_it/c 実験・実置業・ と連携したため・ ととされている。 とを表している。 とを表している。 とを表している。 とのでは、 とのでは	受審年月: course/jouh ・実技の授業 ・実技の授業 ・を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	pou/system  実習・実技  素等・数  素響・数  素響・数  な数  実性位数  (専修・ (専修・ (専修・	無	項第1号) 項第2号) 項第3号) 項第5号)	VUR L	3000 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位時間     単位     日    日    日     日   日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日    日   日	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就職先であるIT業界・IT企業と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②情報処理分野における学修の中心となる設計、プログラミング、テストなどの教育内容に関して、教育課程編成委員会を 诵じて常に業界の最新情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践修得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保並びに更なる教育の質の向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員会も分野ごとに各校共通の組織を設置する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置付けについて教育課程編成委員会の意見は、校内のカリキュラム編成会議で検討され、大原学園教育本部の承認 を受けたのち、校長の許可を経て決定する。
- ②意思決定の課程
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題を明確にしたうえで、教育課程編成員会に提言を求める。
- (イ)委員会では、企業等からの意見を参考に、次年度以降の教育課程編成に関する改善策を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は、学園教育本部に提出し、学園全体の教育課程編成にも活用していく。
- (I)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、就職本部、教務課長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

## (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
西山 将司		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
岸昌二		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
錺 昌彦	//D だん  吉立        / / /	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
佐藤 翔弥	700	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:00~17:00

第2回 令和6年11月14日 16:00~17:00

第1回 令和7年8月7日 16:00~17:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

実習教育におけるトレンド技術を提供すべく、有識者によるオンライン授業を導入した。実力上位者にとっては、有益な学習機会を与えられたと感じる一方、1WAYを基本とした講義中心のオンライン授業は質問のタイミング等が難しく、中下位層の理解度・満足度向上の側面では課題が残る。

- 1①変更状況
- コース別専門授業の一部オンライン導入
- 期 間:1年次2月~2年次7月まで
- 時 間:150単位時間/62単位中の5単位相当
- 分 野:NWセキュリティ/AIデータサイエンス
- 概 要:本部が招聘した有識者による講義を全国に配信
- ②効果
- ・トレンド技術の提供は教員には難しく、上位層にはよい学習環境が与えられていると感じる。
- ・各校と透過的につながり、グループ学習を行うことで、知識の定着と実践的な思考力の育成が図られる。
- 3課題
- ・オンラインで全国を繋ぐため、個々の質疑に対応する時間の確保が難しく、双方向のやりとりが少ない、講義(2WAYが難しい)になりやすく、学生が視聴するだけで、主体的に学習に取り組まないリスクがある。また、途中で生じた疑問に囚われてしまい、学習が先に進まなくなる傾向がある。
- ・基礎理解が不十分な学生にとっては聴講が難しく、上位層との学力差が広がる。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①工業分野における実習・演習は、企業等との連携のもと学内で行う学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を 行う。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・試行・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- 各種職業実践演習科目の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連携している。
- ① 実習授業内容構築へのサポート
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

Γ	科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
	卒業制作 I	の講師が一部の授業	システム開発における企画立案、 ユースケース図及びロバストネス 図の作成について学ぶ	日東コンピューターサービス株式会社
	卒業制作Ⅱ		システム開発におけるシーケンス 図とクラス図及びテーブル設計書 や画面レイアウトについて学ぶ	日東コンピューターサービス株式会社
	卒業制作Ⅲ	2. 【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	システム開発におけるテスト仕様 書の作成及び実装について学ぶ	日東コンピューターサービス株式会社

# 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

# (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有す即戦力となる人材を育成するためには、教員1人ひとりが常に実務に関する最新の 知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。「大原学園 教職員研修規程」の目的に定める通り、教職員が専攻 分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指導または本人の意志により、公平に 研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は次の通りである。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等:総務自 延載で ローニー サイバーセキュリティ室 総務省 近畿総合通信局 若年層向け「全国型CTFコンテスト」 研修名:

対象:情報IT・クリエイター学科教員 期間: 令和6年11月30日(土)

ネットワーク環境におけるインシデント事例を基にしたサイバー攻撃の事例に関する講演と情報セキュリ

内容 ティの分野で専門知識や技術を競う競技であるCTF(Capture The Flag)に参加することでサイバーセキュ

リティについて学習する

【2025年度プログラム検討の第一歩!】新規事業推進者 連携企業等: 株式会社eiicon 研修名:

必見!来期取り組むべき新規事業施策の考え方

期間: 令和6年12月19日(木) 対象:情報IT・クリエイター学科教員

【多様化する新規事業の手法を知る】

・新規事業による業績貢献へのKPIが強いケース

人材育成を兼ねながら新たな事業の柱をつくっていきたいケース 内容

【自社の方針を定めて適切な手法を選択する】

方針を決めるために整理すべきこと

・まず第一歩目。自社の状態を知るためには。

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

合同会社Yourfuture 「発達障害の特性と支援」「注意欠如・多動症(ADHD)の特 研修名: 連携企業等:

性と支援工 就労移行支援change

令和6年12月10日(火) 期間: 対象: 教職員全員

発達障がい、精神障がい、グレーゾーンの学生が増えている昨今、学生に合った進路選択をサポートする 内容

ため、障がいの特性と支援方法ならびに就労移行支援について理解を深める。

### (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等:一般財団法人関西情報センター 研修名: サイバーセキュリティ・リレー講座

期間: 令和7年10月 対象:情報IT・クリエイター学科教員

サイバーセキュリティ関連研究者を中心に、8名の有識者によるオムニバス形式のオンラインリレーセミ

ナー。企業等で新たにサイバーセキュリティ関連業務に携わる方、改めてサイバーセキュリティの本質を学 内容

びなおしたい方、最新の研究内容に関心をお持ちの方などに最適の講座です。

# ②指導力の修得・向上のための研修等

独立行政法人教職員支援機構 連携企業等: ナラティブコミュニケーション教育 研究所 所長 別府大学 客員教授 研修名: コーチングのスキルと活用 I

佐藤敬子

期間: 令和7年8月7日(木) 対象: 教職員全員

対話を通じてコーチングとは、どのように行うのかを学び、コーチングの原則・プロセス、挨拶とコミュニケー 内容

ション、聞くスキルについての具体的なアプローチ方法を学ぶ。

研修名: 若年層の性暴力被害予防啓発のためのオンライン研修 連携企業等: 内閣府

期間: 令和7年9月2日(月) 対象:情報IT・クリエイター学科教員

若年層に対して教育・啓発の機会を多く持つ皆様や地方公共団体において若年層を対象とした性暴力の 内容

予防啓発事業を担当している皆様が、効果的な予防啓発に必要な知見等を習得

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現できているか、教育を実現するために必要な環境が整っているかにつき、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。委員(外部の役職者)より評価いただき、結果はHPで公表する。課題の残る評価結果については、管理者より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

を図る (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ①理念・目的・育成人物像は定められているか (1)教育理念•目標 ②学校の特色は何か ③学校の将来構想を抱いているか ①運営方針は定められているか ②事業計画は定められているか ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか (2)学校運営 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか ⑤意思決定システムは確立されているか ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニーズに向けて正しく方向づけられているか ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか ③カリキュラムは体系的に編成されているか ④キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施さ (3)教育活動 れているか ⑤授業評価の実施・評価体制はあるか ⑥育成目標に向け授業を行うことができる要件を整えた教員を確保し ているか ⑦成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ⑧資格取得の指導体制はあるか ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら れているか (4)学修成果 ②資格取得率の向上が図られているか ③退学率の低減が図られているか ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ①就職に対する体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生の経済的側面に対する支援が整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか (5)学生支援 ⑤課外活動に対する支援体制は整備ざれているか ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか ⑦保護者と適切に連携しているか ⑧卒業生への支援体制はあるか ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて いるか (6)教育環境 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制 を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか ①学生募集活動は、適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか (7)学生の受入れ募集 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか ④学納金は妥当なものとなっているか ①中長期的に学校の基盤は安定しているか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか (8)財務 ③財務予算について会計監査が適正に行われているか ④財務情報公開の体制整備はできているか

(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ③自己点検。自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

姫路情報ITクリエイター専門学校では、情報処理コースの拡充、最新機器の導入、全コースでのデジタル教材の活用、オンライン授業の導入等、時代のニーズに合った教育を積極的に取り入れられており、社会に有用な人材育成を図ることができている。今後、学生には、教育の成果を披露する機会を与えたり、ボランティア活動等への参加を促したりしてほしい。そのような経験は、学生が社会における自身の立ち位置を把握し、課題を発見し克服することで、組織人として業務をするうえで生かすことができる。そのためには、教職員のコーチング、カウンセリング等のコミュニケーションスキルの向上、自身の感情をコントロールする技術が欠かせない。そして、過去の指導法に執着することなく、デジタルツールの活用等の様々な教育手法の導入を図り、教職員の間でも研鑽を深めていく必要がある。当校も、各種企業や官庁との交流を通じて、どのような人材が社会に求められているかを把握し、引き続き知識・技能のみならずコミュニケーション能力も兼ね備えた人材の育成に努めて参りたい。

#### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
成田 篤史		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
岸昌二	株式会社 オーティエス	0111 (2 17	企業等委員
吉田明史		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
高橋 真由美		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
黒田美沙希		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

表語等の刊行物 ・ その他 ( )) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など、学校全体に関する情報をわかりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げて行くこと。
- ③情報の公開を通じて、学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地・連絡先 ④学校の沿革
(2)各学科等の教育	①カリキュラム・時間割・目指す資格 ②資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生募集
(11)その他	-

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka

公表時期: 令和7年10月6日

# 授業科目等の概要

	#RE	F! 分類	i						極	業方	÷±	場	ᇎ	教	吕	
	必	選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演	実験	校	校	専任	兼	企業等との連携
1	0			ITキャリアデ ザイン I	就職活動に関する基礎知識について学ぶ	1 · 前	30	1	Δ	0		0		0		
2	0			ITキャリアデ ザインⅡ	就職活動における適性試験や面接試験の対 策	1 · 後	30	1	Δ	0		0		0		
3	0			IT基礎知識 I	IT基礎知識(テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野)について学ぶ	1 · 前	90	1	0	Δ		0		0		
4	0			IT基礎知識Ⅱ	IT基礎知識(テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野)について学ぶ	1 · 前	90	1	Δ	0		0		0		
5	0			コンピュータリテラシー	Officeソフト (Word・Excel・PowerPoint) の操作方法について学ぶ	1 · 前	30	1	Δ		0	0		0		
6	0			HTML/CSS	HTMLとCSSを使ったホームページの作成につ いて学ぶ	1 · 前	30	2	Δ		0	0		0		
7	0			Python I	Pythonの基本構文とプログラムの実装につ いて学ぶ	1 · 前	90	2	Δ		0	0		0		
8	0			Python II	Pythonによるオブジェクト指向プログラミ ングを通してクラスの概念について学ぶ	1 • 通	60	2	Δ		0	0		0		
9	0			データベース I	リレーショナルデータベースの概要を学ぶ	1 · 通	30	3	Δ		0	0		0		
10	0			Pythonフレー ムワーク	Djangoを使用したサーバサイドアプリケー ションの仕組みについて学ぶ	1 . 後	120	3	Δ		0	0		0		
11	0			クラウド技術 I	クラウドの概要とAWSを利用したクラウドコ ンピューティングの実装方法について学ぶ	1 . 後	60	1	Δ		0	0		0		
12	0			Java	Javaの基本構文とオブジェクト指向プログ ラミングについて学ぶ	1 • 後	90	1	Δ		0	0		0		
13	0			Javaフレーム ワーク	JavaサーブレットとJSPを使用するサーバサ イドプログラミングについて学ぶ	1 • 後	90	2	Δ		0	0		0		
14			0	一般教養 I	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	1 · 前	30	1		0		0		0		
15			0	データベース Ⅱ	SQLの基本文法とリレーショナルデータベー スの設計と実装について学ぶ	1 . 後	60	2	Δ		0	0		0		
16			0	資格取得講座 A	基本情報技術者試験 科目B試験に合格する ための学習をおこなう	1 · 通	60	3	Δ	0		0		0		
17				資格取得講座 B	AWS Certified Cloud Practitioner に合格 するための学習をおこなう	1 • 通	60	3	Δ	0		0		0		

18	0		I⊺キャリアデ ザインⅢ	就職活動における適性試験や面接試験の対 策	2 • 前	60	4	Δ	0		0		0		
19	0		ITキャリアデ ザインⅣ	社会人に必要なビジネスマナーについて学 ぶ	2 • 通	30	4	0	Δ		0		0		
20	0			ユースケース駆動設計によるオブジェクト 指向分析設計について学ぶ	2 • 通	90	1	Δ		0	0		0		
21	0		卒業制作 I	システム開発における企画立案、ユース ケース図及びロバストネス図の作成につい て学ぶ		90	1			0	0		0		0
22	0		卒業制作Ⅱ	システム開発におけるシーケンス図とクラス図及びテーブル設計書や画面レイアウト について学ぶ		90	3			0	0		0		0
23	0		卒業制作Ⅲ	システム開発におけるテスト仕様書の作成 及び実装について学ぶ	2 • 後	120	1			0	0		0		0
24		0	Javaシステム 開発	Javaフレームワークを利用したシステム開 発演習	2 • 前	120	3	Δ		0	0		0		
25		0		AWSのAIサービスを利用したプログラムの実 装方法について学ぶ	2 · 前	60	3	Δ		0	0		0		
26		0	JavaScript	JavaScriptを学び、動的なWebページを作成 する	2 • 前	60	3	Δ		0	0		0		
27		0	先端クラウド システム開発 I	AIを活用したシステムに関して学ぶ	2 • 前	90	3	Δ		0	0		0		
28		0	資格取得講座 C	LinuCレベル1(101試験、102試験)に合格 するための学習をおこなう	2 • 通	60	3	Δ	0		0		0		
29		0	資格取得講座 D	オラクル認定 Java Silver に合格するため の学習をおこなう	2 • 通	60	3	Δ	0		0		0		
30		0	資格取得講座 E	シスコ技術者認定試験CCNA に合格するため の学習をおこなう	2 • 通	60	2	Δ	0		0		0		
		合	it .	30	1 科	目			2	040		( <u>ì</u>	単位	時間	])

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
(試験) 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題提出により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試は事故等やむを得ない理由により試験を受験しなかった者に対して実施する。 (学業成績) 1. 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、可は60点以上、可は60点上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。2. 授業科目の成績は前項の5種で表すとともに、それぞれの評価に対して、別に定める基準により、GP(Grade-Point)を与える。(単位の授与) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。(卒業の認定) 卒業の認定) 卒業の認定は、修業年限以上在学し、1,710時間以上を履修し、かつ定められた授業科目を修得し、卒業審査に合格した者について校長が行う。	1 学年の学期区分	2 期
(授業) 履修方法: 授業は、講義、演習、実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行うものとする。	1 学期の授業期間	22 週

- (留意事項)
  1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。